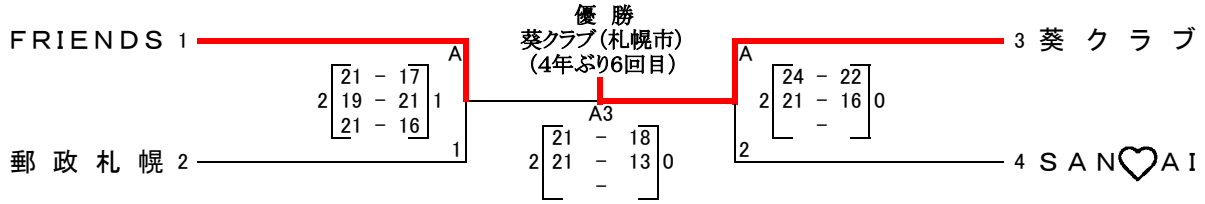


第26回 9人制会長旗争奪大会

平成20年6月 1日(日) 札幌市厚別区体育館 (A・Bコート)
 平成20年6月15日(日) 札幌市東区体育館 (Cコート)

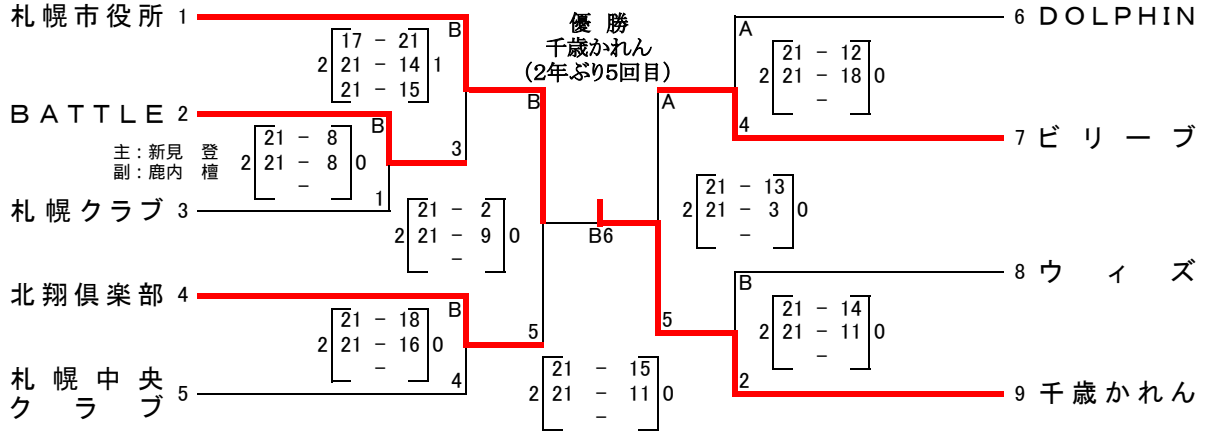
大会長: 吉川 貴盛
 大会委員長: 石井 吉重
 競技委員長: 佐藤 充昭
 審判委員長: 新見 登
 総務委員長: 沓沢 幸一

【男子の部 (6月1日)】



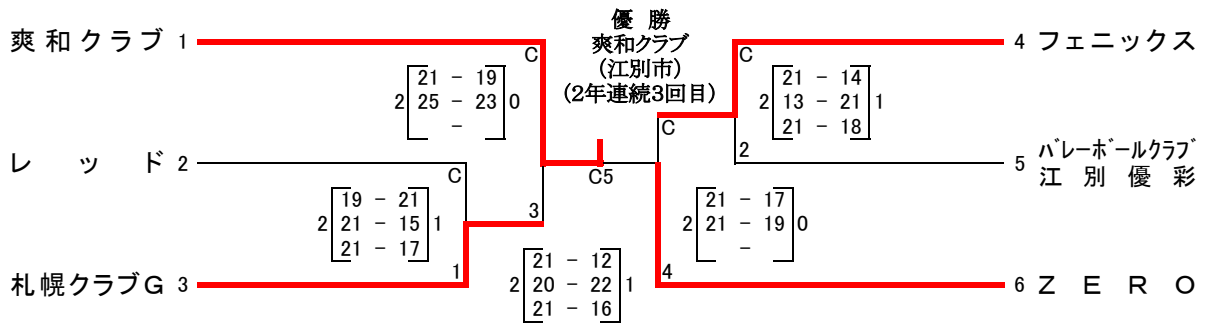
戦評(9人制男子決勝戦)1セット序盤、葵クラブは9番村田の連続サービスエースで抜け出す。対するFRIENDSも2番遠藤の強打やブロック等で必死に食らいつき、中盤お互い譲らず好ゲームとなるが、次第に葵クラブのブロックが決まり出し、最後は葵クラブ10番菊地のスパイクが決まり21-18と先取る。2セット、何とかこのセットを奪い返しフルセットに持ち込みたいFRIENDSだが、葵クラブは3番瀬川のジャンプサーブでいきなり4点引き離される。このまま一気に行くかと思われたが、粘り強いレシーブと2番遠藤の強打で1セット目同様シーソーゲームとなる。しかし後半にかけて葵クラブの攻撃陣が加速し一気に引き離し21-13と連取して、4年ぶり6回目の優勝を飾った。

【女子の部 (6月1日)】



戦評(9人制女子決勝戦)戦前の予想通りの強豪チーム同士の対決となった決勝戦。序盤は互いに点を重ねる静かな立ち上がりとなった。試合が動き始めた中盤、札幌市役所のレシーブの乱れから徐々に千歳かれんがリードを広げる。札幌市役所は13番中川のスパイク・ブロックで必死に粘るが、千歳かれんは最後押しきり21-15と先取る。1セット目を奪った勢いそのままに、千歳かれんがスパイク・ブロックと決まり、中盤までリードを広げ試合を優位に進める。対する札幌市役所も粘り強いレシーブから必死に追いつがるが、高さのある千歳かれんのブロックを攻略できず、なかなか点差が縮まらない。最後は千歳かれん8番エース吉本のブロックが決まり21-11と連取し2年ぶり5回目の優勝を飾った。

【4号球の部 (6月15日)】



戦評(女子4号球決勝戦)1セット、序盤お互いに得点を重ね、静かな立ち上がりとなる。爽和クラブ7番成田の連続サービスエースから試合が動き始め、徐々に点差を広げて行くが、ZEROも粘り強いレシーブで応戦する。しかし攻撃力に勝る爽和クラブが2番藤田のブロック、成田の活躍で21-12と先取る。2セット、何とか持ち前の粘り強いパレーでこのセットを取り直しフルセットに持ち込みたいZEROは7番山中の強烈なサーブで相手を乱し徐々に主導権を握る。勢いに乗ったZEROがこのまま行くと思えたが、高さに勝る爽和クラブが盛り返し接戦となる。デュースまでもつれたが最後はZEROのエース山中のスパイクが決まり22-20とセットカウントを対にする。決勝戦にふさわしくフルセットまでもつれた3セット目、お互いに一歩も引かず大接戦となる。両チーム、エースの打ち合いで主導権の取り合いとなったが、中盤、爽和クラブが8番西山のサービスエースでジリジリと差を広げる。ZEROもそれを許さず、放されまいと食らいつくが、地力に勝った爽和クラブが21-16と逃げ切り、2年連続3回目の優勝を飾った。

【成績結果】

男子の部	優勝 葵クラブ (札幌市)	準優勝 FRIENDS (札幌市)	3位 SANA I (南幌町) 郵政札幌(札幌市)
女子の部	優勝 千歳かれん (千歳市)	準優勝 札幌市役所 (札幌市)	3位 ビリーブ(札幌市) 北翔倶楽部(札幌市)
4号球の部	優勝 爽和クラブ (江別市)	準優勝 ZERO (札幌市)	3位 札幌クラブG(札幌市) フェニックス(石狩市)